

平成 31 年度 新規事業箇所調書

(港湾整備課)

事業名	港湾改修事業						
河川・路線・施設名等	清水港		所在市町	静岡市			
事業費	500 百万円		事業期間	H31 ~ R3			
事業概要、目的							
(1) 事業目的							
これまで日の出 5 号岸壁を利用していた国内旅客定期航路について、同岸壁のクルーズ船専用岸壁への転換に伴い、江尻地区に移転することとし、代替えの係留施設を用意することを目的とする。							
(2) 事業内容							
岸壁 (改良) L=151m							
費用対効果 (B/C)	1.58	総費用	6.54 億円	総便益	10.31 億円	基準年	H30
費用対効果分析の手法							
「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル」国土交通省 H29.3 による							
評価指標、項目							
本事業を実施することで得られる効果 (貨幣換算可能な便益)							
移動コスト削減便益							
<ul style="list-style-type: none"> フェリーターミナルの整備により、フェリーの乗船者は、目的地までの移動コストを削減できる。この移動コストの削減額を移動便益として計測する。 							
事業概要図							
清水港江尻地区 港湾改修事業							